# (平成18年第5号)

社団法人 日本山岳会 北九州支部 Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局:北九州市門司区新原町12-27

関 口 興 洋 方

TEL·FAX 自宅 093-382-6436 携帯 090-8919-6776

発行人:大庭常生

編集人:関口興洋・伊藤久次郎

# 常念岳に立つウェストン

ウェストン碑は、全国に16箇所存在!

No. 13643 関 П 興 洋

3年前、高千穂町五ケ所高原三秀台で開催された宮崎 ウェストン祭に参加した折、日本山岳会宮崎支部より頂 いたウェストン顕彰記念物一覧表(平成14年11月3日付け) によれば、顕彰記念物は全国で16箇所あるとのこと。

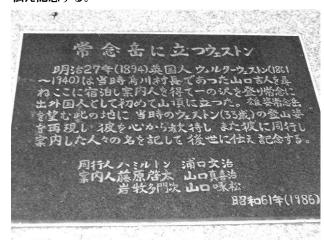
もっとも有名な顕彰碑は、ウェストン碑前祭が行われ る上高地のレリーフであるが、それと対照的な存在は常 念岳の麓にある胸像ではなかろうか。現在、脚光を浴び ている国営アルプスあづみの公園に隣接した場所にひっ そりと立っている。

上高地が場所がら知名度が高いのは当然であるが、安 曇野に位置するこの立派な胸像はなんとなく影が薄いと の印象をうけた。

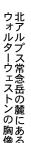
今年8月の夏休みを利用して、記念碑とゆかりの山口 家を初めて訪れたのでご紹介したい。

#### 「常念岳に立つウェストン」

『明治27年(1894) 英国人ウォルターウェストン(1861 ~1940) は当時鳥川村長であった山口吉人を尋ねここに 宿泊し、案内人を得て一の沢を登り、常念に外国人とし て初めて山頂に立った。雄姿常念岳を望む此の地に当時 のウェストン (33歳) の登山姿を再現し、彼を心から歓 待し、また彼に同行し案内した人々の名を記して後世に 伝え記念する。



同行人 ハミルトン 浦口文治 案内人 藤 原 啓 太 山口真喜治 岩牧多門次 山口啄松 昭和61年(1986)』





「日本アルプス登山と探検」(ウェストン著、岡村精一訳) によれば、実は前年の1893年に計画したが、天候が悪か ったのと、その他いろいろな障害のために、常念岳登山が はばまれたとのこと。

翌年の1894年8月6日、松本を出発し、山口村長の家 を宿舎として常念岳登山を行った。

山口家は江戸時代初期から続く大庄屋で、庭園が有名で ある。松本藩主もたびたび逗留したほど格式の高い元禄初 期の書院建築と庭園がよく保存され、堀金村指定の重要文 化財となっている。現在も山口家の当主が住居として使用 しており、その意味で価値があると思う。

観覧料400円を払って庭園を見学したあと、ウェスト ンが上がった広い縁側から書院の座敷に入り、一行が使っ た二間の美しい客間に座し往時を偲んだ。

翌日、一行は3人の熊狩り猟師(案内人兼荷担ぎ)と村 長の息子も加わり、須砂渡から一の沢を通り、途中北側の 鞍部で野営し翌朝山頂に立った。野営の場所から西に槍ケ 岳、穂高を、東に目を向けると松本平から浅間山、南東に 富士山を眺めたとある。現在の常念小屋あたりと思われる。

沢を登る途中、休憩時間になると猟師たちは荷を放り出 し、山椒魚(子供のいろいろな病気の薬として非常に珍重 された) とりに熱中した様子や、キャンプの近くのハイ松 のなかで雷鳥を打ち取った話などが挿入されている。

(注) 現在の当主の奥様の話では、村長の息子が参加した とあるが、これはウェストンの勘違いと思われる。当時の 息子はまだ幼く山行は無理だったはずとのこと。

### 福智山(901m) 5000日登山達成! 太田 43年間の夢、9月8日山頂で仲間がお祝い!

昭和39年から地元の山、福智山に登り始めて43年 年目、本年9月8日、登山日数が5000日に達し、山仲 間と日本山岳会北九州支部会員など約40人が5000日達

成を祝った。なお太田氏は、2006年10月、深田日 本百名山も踏破している。

以下太田氏の福智山での想い出あれこれである。

#### 5000日登山達成おめでとうござい ます。これは1日に1回登った回数 ですか?

(太田氏) いえ、1日に2回以上登 った回数は195日ありますが、私 の場合、1日に何回登っても1日と してきました。ですから回数として 計算すれば、5千数百回になります。

#### 3回以上登ったことは?

あります。5回が1回あります。そ の時は12時間かかりました。その ほかに登山道整備の丸太の材木、2 2キロを途中までだが1日に8回運 んだことがあります。

#### 5000日の間、何か想い出に残る ことはありませんか?

(太田氏)十数年前のことですが、 白雲ラインの林道終点に浮浪者(ホ ームレス)がカヤなどで仮小屋をつ くり住みついたことがあります。早 速直方森林管理センターに電話し 後、3日後に山火事を発生させ、植 林が50本以上焼けました。森林保 全巡視員をつくるきっかけなった事 件だと思っています。

またある時、飼い犬が遭難、不明 になっていたのを一週間ぶりに救助 したこともあります。山中での鳴き 声は「こだま」となって谷中に響き 渡るので居場所を探し出すのに3日 かかりました。飼い主はあきらめて いたので大変喜ばれました。

昭和62年からボランティアで始め た登山道の草刈りは一昨年から仲間一 人が手伝ってくれるようになり一日で 終わるようになった。20年目の今年 も山頂から八丁、そして上野峡方向へ 900m位を草刈り機で刈り終えて登 りやすくなっています。





<b>+</b> -□	港丘	~~~	1 E O (	$\Lambda \cap \Box \sigma$	に取り	ı

	昭和	年間登 山日数	累計	その他	平成	年間登 山日数	累計	その他
	3 9	3	3		1	168	677	
	40	3	6		2	185	862	
	4 1	2	8		3	2 5 1	1113	南アルプス8泊
	4 2	3	1 1		4	$2\ 5\ 4$	1367	北別プス7泊
	4 3	1 2	2 3		5	2 3 1	1598	
	44	8	3 1	北別プス5泊	6	1 3 7	1735	北別プス6泊
	4 5	14	4 5	北別プス5泊	7	1 2 7	1862	
	46	2 5	7 0		8	100	1962	
	47	1 5	8 5		9	180	2142	
	48	3	8 8		10	$3\ 4\ 9$	2491	
	49	9	9 7		1 1	3 0 5	2796	
	5 0	2 2	119		1 2	3 5 7	3153	
	5 1	1 5	134		1 3	3 4 1	3494	北アルプス
	5 2	3	137		1 4	3 3 2	3826	モンブラン
	5 3	1	138		1 5	$3\ 2\ 4$	4150	
	54	8	146		1 6	3 1 3	4463	南アルプス
J	5 5	0	146		1 7	305	4768	ゴーキュカテパタール
	5 6	0	146		18	2 3 2	5000	北別プス6泊
ኃይኒ	5 7	2	148					

205

248

248

249

359

509

43

110

150

59

6 1

62

会員に囲 60

まれ 63 ○1日に2回以上登山した回数が 195回

○最高は、1日に5回登ったことが 1度

# 支部で救命講習会開く 一般にも呼びかけ 新聞も大きく報道

人工呼吸や応急手当等の救急知識を習得し、それ を山行や日常生活に活かすため、日本山岳会北九州 支部では、さる7月8日(土)午後1時から3時間、 北九州市門司区の門司体育館で「普通救命講習会」 を開催した。講師は門司消防署救急救命士の加来明 生さんで、参加者は北九州支部会員20人と一般登 山愛好者など合計 32人がAED (自動体外式除細動器) や男女の救命マネキン等を使って受講した。以下は、 丹下会員の受講感想文と毎日新聞の報道記事。

#### 受講者(氏名のみ)

大庭常生 原 広美 大楠益弘 兼光 功 西村信子 浜松礼子 浦田和夫 馬場基介 村上 強 高畠拓生 末吉史忠 関口興洋 藤田傳 西村俊二 高城季美子 塩屋 薫 丹下 洽 足立明夫 大木ヤス子 丹下香代子 森本利二 小田幸男 酒井砂冨美 西田千鶴 濱村松秀 畑中ツキ子 手塚真人 近藤幸子 淵田和子 志水めぐみ 阿部市子 井田邦子 計 32 人

普通救命講習を受講して

### 時には発信人になろう!

No.14264 丹下

中高年登山者が、山行中突然死し たという報道に接することがありま す。この様な悲劇を無くせないかと 思っていた時、毎日新聞社が救急救 命法の普及キャンペーンを行ってい た。この機に北九州支部で救命講習 会を開催出来ないか、提案したとこ ろ、役員会で検討の上実施となった。 そこで毎日新聞社西部本社編集局長 に相談すると、担当の報道部記者を 紹介して戴き、講習会の趣旨を説明 し、取材を依頼した。当日の様子は、 7月13日の朝刊北九州版に掲載さ れた。この講習会が支部として行わ れたことに意義があると思います。

「山と渓谷」の昨年11月号に「日 本山岳会の百年」の記事に「百名山 を登ろうと思います」と入会してき た新入会員が会が何もしてくれない と退会し、除籍対象者が111人に達 し、入会して間もない会員が多いと の記述がありました。

故ケネディ大統領が「祖国が諸君 に何をしてくれるのかを問うのでは なく、諸君が祖国に何を成しうるか を問い給え」と語っていました。一 方的な受け手になるだけでなく、会

日本山岳会北九州支部 初心者にも習得呼びかける 救急隊員の説明に聴き もの時』 入る登山の愛好家たち 日常生活での でもし 止まった心臓の鼓動を回

2006年 (平成18年) 7月13日 (木曜日)

同支部は 講した。 30人がこのほど、 の門司体育館で、

日

新 聞

技術を身に付けておけ 故に対処するためだが 生法などの救命講習を受 ーキングの愛好者たち約 山での不慮の事 「応急手当ての 門司区 サージ、 ノームの

の救急隊員を講師に招 た。この日は門司消防署 体に呼び掛 同支部が地元の愛好者団 えていることなどから、 人工呼吸や心臓マッ 電気ショックで けて実 現し

は重要。 そ野を広げていきたい する初心者にも習得を呼 の方法を知っておくこと び掛けるなど、活動のす 部長(69)は 登山教室に参加 「正しい処置

を約3時間かけて学 外式除細動器) の使い ん方

の行事に参加し、時には発信人と なることが必要だと考えます。で なければ入会させて戴いた意味が ありません。

最後に、講習会の開催に尽力さ れた大楠益弘、馬場基介両氏をは

じめ役員の方々、当日参加された 皆様に心より感謝申し上げます。



# 利尻・礼文山行記

# 利尻山頂で迎えた誕生日

No.13520 西 村 信 子



利尻岳山頂にて

メンバー: 西村 俊二、西村 信子 立石サツミ、佐藤 照美

利尻の山頂で迎えた誕生日。ヤッター! 登り始めて5時間、1719m登頂。4人でコーヒーで乾杯!! 祝杯は宿に戻ってからワイン、ビールでおめでとう! ありがとう!

今回、私の誕生日割引を利用して、 利尻山・礼文岳の山行を計画しました。サンデー毎日の身ですので土・ 日を避けて平日の6月19日~23日、 4泊5日の山旅です。

19日、福岡〜千歳〜利尻と飛行機を乗り継いで3時前、利尻に到着。宿の迎えでひとまずペンションに落ち着き、自転車をお借りして夕日ヶ丘展望台、ペシ岬を散策。道端にリシリヒナゲシ、エゾカンゾウ、ハクサンチドリなどが咲き、感動する。利尻山もきれいに見え、明日、無事登れますようにと祈る。

20日、鴛泊コースを行く立石さんを先に登山口で降ろし、我々は沓形コースへと送ってもらう。

5合目、見返台園地(▲410)を 5:45出発。天気は曇り。時々ガス る。初見のザゼンソウに出会え、写 真タイム。7合目、7:00着。順調 な歩行タイムで進む。

三眺山(▲1461m)に9:10着。こ こからの眺めはとても素晴らしかっ た。北側のなだらかな山容と違い、 西壁や南稜の荒々しい、切り立った 岩峰が眼前に迫っている。10分の休憩。立石さんに電話を入れる。彼女も順調に歩いているようだ。

これからが難所の続くルートで、 9合目「背負子投げの難所」、ロー プが要所、要所にあって整備されて おりクリア。山頂へのルートを確認 すると雪渓上を通過するようだ。こ のコース最大の難所の「親不知・子 不知」で溶岩のガレ場と雪渓が次々 と現れる。前日、通過の足跡はある が、今日は我々が1番手のようでア イゼンは携行していたが、キックス テップでどうにか通過。5ヶ所の雪 渓をトラバース。一歩バランスを崩 すと奈落の底へと一直線。出発前、 インターネットや宿に電話を入れて 情報収集していたが、思ったよりハ ードでした。



鷺泊コースとの合流点に10:30着。ここまでは誰とも会わない我々三人のみでしたが、これから先はツアー客が多く、離合しながら10:55山頂到着。立石さんとも再会。お互いの健闘を祈ってまずは記念撮影。風もなく、穏やかな日差しがそそぎ、誕生日登頂の喜びを噛みしめる。

11:30、下山開始。長官山で小休 止。裾野が長く、雪渓を抱く利尻山 に最後の別れを告げ、長官山にある 1等三角点を確認し、13:20出発。 エゾハクサンイチゲのお花畑、大き な葉の下でひっそりと咲くザゼンソ ウなどを観ながら、登頂の達成感で 会話も弾む。3合目、甘露泉で喉を 潤おし、15:40、登山口到着。休憩 を含んで9時間20分。長丁場でした。 利尻富士温泉で一日の疲れを癒 す。隣の方より耳寄りな情報を頂く。

21日、船で礼文へ渡り、レンタカーで今日でゲートが閉まるレブンアツモリソウの群生地、澄海岬、スコトン岬など観光地を巡り、知床の宿に到着。夕飯はカニ、ウニなど海の幸がたくさん並んでおり、とても美味しく頂きました。利尻でのタコシャブも絶品でした。

22日は香深まで送ってもらい、 内路の礼文岳登山口へ移動。7:45 出発。山頂到着9:35。ガスって何 も見えない。11:20下山口到着。ラ ッキーなことに下山後、雨が降り 出しました。

午後からは雨の中、香深〜知床までのトレッキングコースを歩く。お花の島だけあって高山植物が目白押し。風も強く、霧雨も降っているが、花の撮影に忙しい。チシマフウロ、レブンハナシノブ、レブンキンバイ、クロユリ・・・・。15:20終点到着。4日間の行程終了です。

21日に下船後、礼文岳に登り、 22日は8時間コースを歩く予定で したが、耳寄りな情報で計画を変 更しました。が、これも良かった かなと思っています。

おまけがあります。礼文の宿で 私達の会話を聞いて、九州の方で すか? と話しかけて来られ、福岡 県と言いますと、「懐かしい! 田 川の伊田出身で、今、青森に住ん でいます」とのこと。ご主人と旅 行中だとのこと。会話が弾み、持 っていた山岳会のバンダナを「英 彦山、懐かしいでしょう!」と差 し上げました。

今日 (7/3)、彼女からレブンウスユキソウの絵手紙が届きました。 後半、お天気に恵まれませんでしたが、とても充実した利尻・礼文の5日間の山旅でした。計画を楽しみ、帰ってから写真を見て、また楽しむ。お礼の絵手紙を見て、またまた楽しむ。

次は今月後半の北アルプス。いろ んな方との出会いと楽しみに!! 穂高連峰から裏銀座への大縦走

### 岩稜を行く 単独行 北アルプスの一週間

No.13819 太 田 満



黒部五郎岳山頂にて

今年の梅雨明けが一週間遅れたた め、半年前から計画していた、仲間3 名との南アルプス山行が中止になった。 また単独行になってしまったが、山中 6泊すべてをテントの予定で新穂高温 泉から入山した。

7月31日 曇 西穂高山荘テント場泊。 ロープウェイーを利用、楽をして50 分でテント場に着いた。

#### ジャンダルムに立つ

8月1日 曇 西穂高岳〜天狗のコル〜 穂高岳〜穂高山荘テント場泊。

朝8時出発、西穂高岳をすぎると入 影なし。5泊分の食料と水3リットル のザックで天狗のコルに着いたときは バテバテ。穂高岳からの逆縦走者は2 名のみ。やっと無人のジャンダルムに 立つ。その姿を穂高岳で会った人が、 前穂高岳近くから見ていたという。今 日の難所はやはり「馬の背」の岩稜だ ろう。テント場着16時40分。

#### 大キレット越え

8月2日 晴 穂高山荘テント場~北穂 高岳~大キレット~槍ガ岳テント場泊。 朝6時30分出発、槍ガ岳方向への 縦走者は少ない。槍から来る人多し。 それでも話に聞いた離合の混雑無し。 今日もバテ気味で南岳を通過。中岳斜 面の雪渓の水うまい。大休止して頭を 洗う。テント場着15時30分、今日も 疲れた。難所は飛騨泣きより、涸沢岳 からコルへの下りの鎖場と思った。

#### 裏 銀 座 へ

8月3日 晴 槍ガ岳登頂~双六小屋 ~三俣テント場泊

早朝山頂往復、西鎌尾根を下る。 北アルプスが初めてという広島の 本谷氏がついてきた。双六小屋で彼 と別れた。三俣への巻き道をテント場 へ。山荘ヘテントの受け付けに行った ら、福智山の仲間と出会った。女性二 人で裏銀座コースを縦走中、明日の西 鎌尾根の登りはキツイゾー。ガンバレ! 8月4日 晴 鷲羽岳~水晶岳~雲ノ 平~三俣テント場泊。

テントを張ったまま、サブザックで一 日中歩いた。雲ノ平から花を撮りなが らテント場に戻った。今日は楽だった。

8月5日 晴 黒部五郎岳~三俣蓮華 岳〜双六池テント場泊。

三俣山頂分岐のハイマツ帯にザック をデポし、サブザックで黒部五郎岳へ。 尾根道を登り山頂からカールへ下りた。 いつものように、雪解け水でコーヒー を沸かし、花を眺め、雪渓を見上げて 30分過ごした。槍、穂高より好きな 五郎岳のカール、まだまだ何度もきた いと思う。 三俣蓮華岳から双六テン ト場へ。小屋は超満員、溢れた人が宿 泊の交渉中。この小屋は何時も多い。 早く着くのが一番だ。

8月6日 晴 笠ガ岳~笠新道下山~ 新穂高温泉。

ほとんど下山者、笠ガ岳へ向かう者 は十数名。笠新道下山口にザックをデ ポ、カメラを持って山頂へ。 前回はガ スって何も見えなかった。今日は最 高! 西穂高岳から槍ガ岳に続く岩稜 を眺め、重いザックでの二日間の縦走 を思い起こした。テント泊の山行もこ れが最後かも知れないと思った。

後の山行 8月7日 焼岳、乗鞍岳 8月8日 荒島岳 8月9日 伯耆大山

大崩渓流散策記録

#### 丸太橋がアルミ製の橋に

No.14081塩 屋 薫

日 程 8月7~9日。 参加者 CL中村 塩屋 矢野 橋本

行 程 下関~トンネル~下曽根~ 宇佐道~大分道~米良~326号~桑 の原~上祝子川~大崩山登山口 移動日 8月7日下関6:00発。上祝 子川美人の湯11:00 着(途中3ケ所 休み)。

登山記録 大崩山登山口12:53 発。 大崩山荘13:40 着。個人装備、食料、 飲料、共同装備計66.5kg、4人で 分担担ぎ揚げ。15kg~22kg。山 荘4人貸切。薪集め、沢見、夕飯焼 肉 (炉辺焼き?)。水はホースが切 れて貯水不能、沢水使用。

8月8日天候快晴、三里河原渓流 散策と幽谷歩き(祝子川左岸)。

大崩山荘7:45発。湧塚、三里河原 分岐8:00。湧塚へ行く時に渡る流さ れた丸太橋が新しいアルミ製の立派 な橋に付け替えられていた。定員2 名、増水しても安心して渡れるであ ろう。湧塚尾根経由山頂5.2 km、上 湧塚3.3km、袖塚1.7kmの案内板あり。 三里河原へ右に樹林の中を連続する アツプダウン梯子、ロープ、鎖、ワ イヤーが危険な場所に取り付けられ ていた。吐野分岐9:50。左に下り三 里河原に出た。モチダ谷経由大崩山 5. 43km、中瀬松谷経由大崩山6. 68km、 上祝子登山口4.27km(天草山の会)。 これより沢づたいに右に左に徒渉。 セトロ谷合流点10:02。ここで渓流 靴に履き替えて安全に渡る。10:45 モチダ谷出合いから笹林の中を登り 金山台に降りて渓流を歩き中瀬松谷 11:27着。昼飯は渓流水で湯がきソ ーメン、12:35帰路に着く。

往路を進み13:13モチダ谷の上にテ ント一張あった。吐野14:00、 展望 台岩14:20 、喜平谷で大休止。山荘 15:50 着。行程約7時間、天候も良 く風も爽やかで、梅雨明け後降雨が 無いので水量も少なくまた水温16度 と快適に歩けた。また花こう岩の岩 峰大崩山湧塚を展望しながらの山行 は最高でした。

8月9日帰路、山荘8:45発、登山口 9:05、下山10:00 。美人の場にて3 日分の汗を流して11:05発。竹田 瀬の本 九重 中津 下関18:00着 解散。550kmの行程。運転矢野さん 御苦労様でした。

以上

#### サロンルーム便り

No.13465 大楠益弘

久しぶりにサロンルームからお便 りします。発信地はいつもの通り小 倉のコール天。時は7月26日水曜 日日没後、道すがら事務局長の関口 さんと西村さんに出会いました。西 村さんは笠ガ岳、双六岳の現地降雨 情報のため山行を断念しての参加で す。西村嬢、相変わらず張り切って いますネ。すでに伊藤さん、日向さ ん、馬場さん、原さんがテーブルを 囲んでいて、原さんの北海道遠征の 話に花が咲いていました。旭岳、白 雲岳、トムラウシなど7月9日から 6日間(現地3日間)山小屋泊まり で数え切れない程の花に取り囲まれ ての山旅。北海道山地のスケールの 大きさが想い起こされます。今回は 会友の北海道支部助田さんの案内で、 支部会員6人共々親交を深めること が出来、感激ひとしおだったそうで す。原さん、ご苦労様でした。北海 道は勿論のこと他支部とも交流を盛 んにしてゆきたいものですね。

突然ニューフェイス登場。人見五郎 (No.11842) さんです。支部報でも報道されていますが、4月19日に当支部入会です。日向さんからの

紹介ですが入会ホヤホヤなのでプロフィールをお知らせします。

1955年12月生まれ。若いですね。京都の生まれ、育ちですが現在宗像市在住。九州国際大学国際関係学部教授です。山男憧れの京都大学山岳部0B。現在は京都大学学士山岳会会員。ご承知のこの会は、今西錦司、西堀栄三郎、桑原武夫などの世界的アルピニストを輩出した伝統ある山岳会なんですね。ご当人は、ヒマラヤ遠征6回以上。まことに頼

# すっかり定着した サロンルーム

もしい限りです。左の方も斗酒なお 辞せずかと。

乾杯用として日向さんからの珍品 差入れ。カンボデャ土産の米で造ったブランデー、度数50度、透明瓶の底には何やらうごめく草の根らしきものあり。少し警戒しながら注がれた盃のものを含むとカラッとした美酒。沈んでいた根っ子はショウガで、これもカンボチャならではのもので酒を含んでいて美味。

またもやヒマラヤ男がやって来ました。村上強さん。1986年ネパ

ールのチョーオュー(8201m)遠征以来ネパールに入りびたり(7回以上)。山ばかりではないんですね。海にも潜っています。なんと国際公認潜水士でもあるんです。遠い先祖は、カモシカかヤク、それとも亀だったのでしょうか。研修参加も熱心で先日の普通救命講習にも参加、ただ当日は救命マネキンは男女一体ずつで、たまたま村上さんのグループは男のマネキンだったので女の方に行きたいと言い出して周りの女性全員がブーイング。根が正直なんですね。又酒の強いこと8000m級。

ここコール天は、飲み放題をモットーとしているので、周りのメンバーは割り勘に影響が無く助かっています。大昔の先祖は鯨だったのでしょうかねえ。

ともかくこれで当支部では、技術 指導陣も益々充実してきました。サロンルームはどなたでも参加できる オープンな会合です。予約も必要な しです。午後6時過ぎからボチボチ 始めています。奮ってお出かけ下さ



## ◇◇◇報告・お知らせなど◇◇◇

# 忘年パーティの開催

~今年は小倉地区で~

期日 場所 平成18年12月9日(土) 17:30~ 小倉北区大門1丁目1-17

小倉リーセントホテル

TEL 093-581-5673

(JR西小倉駅から正面徒歩3分)

受付 17:00より 会費 5,000円

申込 FAX又はハガキで、事務局(関口まで)

TEL/FAX 093-382-6436

締切 11月末まで

#### 薬用植物技術講習会のご案内

No.13465 大楠益弘

下記の内容で薬用植物の観察、講習会が開催されます。講師は九州大学院特別研究員(薬学博士)でもある秦野一彦前支部長です。ご本人から当支部にも参加のお誘いがありました。観察は薬用植物だけでなく豊富な種類に恵まれた現地の山野草の観察会も兼ねてい

ます。奮ってご参加下さい。

(1)期 日 10月21日(土)10:00~16:00

場 所 平尾台(ゆっくり歩きながら、秋

の山野草を楽しみましょう)

集合場所 平尾台茶ガ床園駐車場(マイカー)

集合時間 9:30

問合せ・申込先 西村信子(TEL0930-33-4618) ※当日参加0Kですが、人数把握の為、ご連絡ください。 (2)期 日 10月22日(日)8:30~13:30 場 所 皿倉山

(皿倉山を登りながら自生する薬 用植物の観察及び皿倉平の下、薬剤 師会の付属薬用植物園で特別講演)

集合場所 皿倉山ケーブル下駅登山口

集合時間 8:30

問合せ・申込先 大城戸昌敏 (TEL093-612-7476) \*13時頃現地解散の予定。小雨決行、昼食各自持参。

#### 会員異動

#### 新会員

本部会員

No.14317 小 林 冨 雄

福岡市東区

支部会員

No.北九401 山田加寿彦

若松区

#### 北九州支部会友 助田夫妻ベストテン入り 中央分水嶺踏査200km以上踏破会員

日本山岳会創立 100 周年を記念して、北海道から九州までの日本中央分水嶺踏査が実施されたが、このほど秋田支部から分水嶺踏査で 200 km以上踏破した個人会員が発表された。その中に、北海道支部会員で、わが北九州支部の会友でもある助田陽一氏が第5位で、夫人の梨枝子さんが第9位と夫婦揃ってベストテン入りした。なお10位までに北海道支部会員が6人も占め、1位と4位も北海道支部の夫婦会員であった。

順位	会員番号	支部名	氏 名	回数	距離
1	13040	北海道	漆崎 隆	3 6	258. 9
2	11280	秋田	鈴木 裕子	3 2	239. 3
3	5748	秋田	佐々木民秀	3 0	234. 7
4	13041	北海道	漆崎 裕子	3 7	233. 1
5	12995	北海道	助田 陽一	3 6	229. 9
6	13709	秋田	伊藤 秀雄	3 0	220. 4
7		宮崎	内山 憲一		212. 0
8	5868	北海道	新妻 徹	5 2	207. 7
9	12996	北海道	助田梨枝子	3 2	206. 7
10	13058	北海道	田島 祥光	2 9	171. 4

(秋田支部)

# 山のニュース (最近の新聞記事から)

#### 犬鳴山系最高峰 菅嶽に 登山道開設

福岡県宮若市の登山愛好家でつくる「里山の会」の メンバーが、市西方に位置する犬鳴山系で最も高い菅 嶽(682m)に登山道を整備した。菅嶽は、公共交通機関 を利用する登山者には不便な場所にあることから、あ まり知られておらず、登山客も少なかった。

新ルートは、同市と篠栗町を分ける猫峠を出発。南東に進み、遠賀川流域では最も高い地点にあるという 貯水池、原溜池の前に出る。そこから尾根伝いに北東 に向かい、頂上を目指す。ルート上には、マグネシウムを多く含み、飾り石にもなるとういう蛇紋岩が広がる一帯や、リョウブが群生している場所もある。頂上まで2時間弱、距離にして5キロほどという。

(6月6日、西日本新聞)

# カラコルム6大氷河 初踏破長野の林原さん

前人未踏のカラコルム6大氷河踏破に挑んだ長野県松本市在住の登山家、林原隆二さん(56)が6月末に、最後の一つで最西端にあるバツーラ氷河60<sup>\*</sup>』を歩き抜き、快挙を果たした。2002年までに東西300<sup>\*</sup>』に及ぶ五つの氷河を踏破済みで、残る課題に6月半ばから挑んでいた。

パキスタン北部のカラコルム地域は地上で最も巨大な山岳氷河が集中し、地図の空白部でもある。東部、中央部は印パ、中印国境紛争の舞台で、北西部もアフガニスタンに接し政治的に厄介な地帯。6大氷河の踏破など試みる者はいなかった。冒険行といえば、エベレストなど有名な名峰ばかり狙う傾向が強い昨今、地味ながら新しい道を示した。

(7月21日、西日本新聞)

#### 世界最年少21歳日本女性で初 東海大2人K2登頂

世界第2の高峰、K2 (8611m) に東海大山岳部が8月1日、登頂に成功した。小松由佳隊員(23) は日本女性初登頂(世界8人目)で、21歳の青木達哉隊員は世界最年少での登頂となった。

同隊は創部50周年を記念し、世界でも最も困難で「非情の山」といわれるK2に挑戦。6月20日にベースキャンプ(5150m)を設置。1954年にイタリア隊が初登頂した南東稜より少し南側の南南東支稜から挑んだ。東海大によると、同ルートからの女性の登頂は世界初という。(8月2日、西日本新聞)

# ナイロンザイル事件追及の石 岡 繁 雄 氏 死 去

1955年1月、実弟若山五朗さん=当時19歳=が死亡した「ナイロンザイル切断事件」の原因究明に半生をかけ、井上靖の小説「氷壁」の題材にもなった、石岡繁雄氏(元鈴鹿高専教授、物理学)が8月15日、大動脈りゅう破裂のため名古屋市の病院で死去した。88歳。穂高・屏風岩正面ルートの初登攀者。

(8月16日、西日本新聞)

#### 支部会費納入について

支部会費(年3,000円)の納入がまだお済みでない方は、同封の郵便振り込みにて早急にお送りください。(会計)

#### 岩稜歩きを想定した技術研修会の案内/「陶ヶ岳」クライミング

1. 期 日:11月19日(日)

2.場 所:山口県四辻/陶ヶ岳

3. 集合場所:下関市/マリアージュ玉姫殿正面の広場

4. 集合時間:午前7時

5. 内 容: 岩稜歩きを想定したクライミング技 術の研修

(1) ロープワーク技術

(2) クライミング用具の取扱い

(3) 支点の取り方

(4) フィックスロープの設定・利用方法

(5) 岩場の登下降実技

6. 講 師:細川 功 会員 (No.12364)

7. 資料:ロープワークに関する「技術資料」を

作成し、当日配布いたします。

8. 持参するもの 昼食弁当

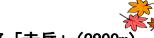
9. 申込先:細川功(TEL0832-45-3362)

10. 締 切:10月末

※ 尚、個人でハーネス、カラビナ、下降器などお持ちの方は持参下さい。無い方はこちらで準備します。

# 山行計画のご案内

# 10月の山行



八ガ岳連峰主峰「赤岳」(2899m) ~ ~縦走と紅葉を訪ねて~(10/12~15)

期日 10月12日 (木) ~15日 (日) の3泊4日 締切 8月15日で締め切り済み。

#### 11月の山行

#### 宮崎ウェストン祭と祖母山(1757m)(11/2,3)

日程: 平成18年11月2日 (木) ~3日 (金・祭日) 1日目 (11月2日)

○ 記念講演(14:30~15:30)

• 場 所:宮崎県立高千穂高等学校体育館

· 講 師:(社) 日本山岳会会長 平山 善吉

· 出席者:高校生600人、教職員60人、 宮崎支部会員30人、他関係者

○ 前夜祭(18:00~21:00)場所、行事内容等は例年の通り

○ 九州支部会員交流会 (21:30~22:30)

○ 宿泊所: 五ケ所公民館(シュラフ、マット持参)

2日目(11月3日)

○ 第22回宮崎ウエストン祭

 $\bigcirc$  祖母山登山(式典会場発 10:00、北登山口着 15:40)

- 申込先 高畠 (TEL/FAX 0948-53-1740)
- 〆切り 10月10日まで
- 交 通 マイカー予定

### 12月の山行

### 日本百名山の恵那山(2191m)と 年次晩餐会(名古屋)(12/2)

今年の年次晩餐会は12月2日(土)、名古屋で開催されます。詳細はまだ未定ですが、これを機会にプレ山行として、なじみのうすい百名山である恵那山(2191m)登山を計画しています。概要は次の通り。

日程: 平成18年11月30日(水)~12月3日(日)

行程:11/30 小倉(新幹線)~名古屋(特急しなの)~ 中津川(泊)

12/1 中津川~黒井沢~恵那山(往復)

中津川〜黒井沢間はタクシー利用(約50分、 約6000円)

歩行時間約7時間(ネット)、中津川~ 名古屋(泊)

12/2 年次晚餐会出席、名古屋(泊)

12/3 名古屋~小倉(新幹線)

費用概算:交通費 約45000円

(参加人数により変動、実費精算)

宿泊費 3泊分約20000円

晩餐会費用は別、現在のところ未定。

参加申込先:事務局(関口までFAXでお願いします)

093-382-6436

申込期限:平成18年10月25日

# サロン ルーム

#### 毎月第4水曜日

9月のサロンは、27日(水) 10月のサロンは、25日(水)

時間 午後6時30分から

場所 小倉北区魚町「コール天」

(魚町銀天街、酒房武蔵より西へ約30m)

費用 3,000円前後(ワリカン制です)

#### 編集後記

○ 7月発行の北九だより(30 号で掲載した英彦山の記事を

読まれた平山会長より北九州支部宛に感想が寄せられましたのでご報告します。

内容は、昨年北九州支部5周年の記念行事で訪れ た英彦山の記事を大変懐かしく読みましたとのこと でした。関

○ 山の原稿は、事務局(関口事務局長)又は 〒826-0032 田川市西平松11-8 伊藤久次郎宛。 IEL/Fax 0947-42-2772

Eメール原稿は、

新アドレス rw4ux6@bma.biglobe.ne.jp です。